



どんな学校？

課程：定時制専門学科（工業）

定時制専門学科の高校で、機械科・建設科・電気科の3科があり、人間性豊かな工業人の育成を学校教育目標としています。

産業動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に應えるため、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組んでいます。



どんなメンバー？

学校

建設科
課題研究模型製作班
課題研究アルコールスタンド製作班

地域

鶴見沖縄県人会



どんな団体？

<鶴見沖縄県人会>

1953年に結成され、会員相互の親睦を図り、心豊かな生活の向上に寄与するとともに、沖縄の伝統文化を継承し、地域社会の発展と福祉に寄与することを目的としている。



はじめたきっかけは？

これまで、建設科の課題研究*1の授業では、模型や消毒用アルコールスタンドを製作し、完成した作品を近隣の保育園や幼稚園、小学校に寄贈してきました。

そうした中、鶴見沖縄県人会の方から、沖縄の日本復帰50周年を記念し、沖縄を盛り上げるような作品を製作してほしいと依頼されました。

沖縄の首里城正殿が焼失した2019年に入学した生徒たちは、火災からの復興の手助けになればと考え、新聞紙を使った模型は首里城正殿に、アルコールスタンドはシーサーに決定しました。

*1 課題研究：主として専門学科において開講される科目。実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。



神奈川県教育委員会教育局
指導部高校教育課高校教育企画室

この冊子はホームページにも記載しています →



すくコミ!

～コミュニティースクール事例集～



学校名

神奈川工業高等学校
(定時制)

活動名

キャリア部会

新聞紙を用いた模型製作
アルコールスタンド製作

取組紹介

取組内容

時数	内容
1	鶴見沖縄県人会からの依頼を受け計画を立てる
2	課題研究の研究テーマとし、研究・製作を開始
3	完成した作品を寄贈
4	地域協働の経験を生かして、生徒の学びをさらに広げる

1 HOP

2022年4月

鶴見沖縄県人会からの依頼を受け、課題研究のテーマを沖縄に関連した「新聞紙を用いた模型製作」と「アルコールスタンド製作」に決定。沖縄の文化や歴史について調べ学習を開始した。

2 STEP

2022年5月

それぞれの班にわかれて製作を開始。

模型は、首里城正殿を50分の1サイズで製作することに決定。首里城の設計図と写真から寸法を算出して再現することにした。

アルコールスタンドは、親しみを持って使ってもらえるように、装飾にシーサーを用いることとした。

3 JUMP

2022年11月

模型は、新聞紙に細かい切り込みを入れて曲線を作り出したり、着色に挑戦するなど、より忠実に再現できるよう試行錯誤した。

アルコールスタンドは、装飾するシーサーを信楽焼で仕上げることにした。

「沖縄の役に立てれば」と思いを込めて、沖縄県人会に完成した作品を寄贈した。



4 FLY

生徒の作品が、地域の方に喜んでいただけたことで、これまで学校で学んだ知識や技術が、社会貢献につながることを体現する良い機会になった。

社会に主体的に関わろうとする意欲を高めることができた。

生徒の感想

難しい作業になるとは思っていましたが、予想以上に大変でした。沖縄の役に立てればとの思いで作りました。作品を贈呈した時、鶴見沖縄県人会の方々喜んでいただけたので、とても嬉しかったです。苦勞が一気に吹き飛びました。

地域の感想

こんなに良いものを作っていただきとても感謝しています。新聞紙でこれほど精巧に作れるなんて信じられません！沖縄は遠いですが、これからは鶴見沖縄県人会に展示された首里城を毎日見て元気をいただきます。ありがとうございました。

先生の思い

地域連携を体現し、社会貢献の意義や喜びを知ってほしいな。